

海域	経過 (1~3月)	現況(4月上旬~ 4月中旬)	見通し (4月下旬~6月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸北部 (青森県太平洋沿岸; 青森水総研発表)	<p>・定地水温:1月、2月は平年並み~やや高め、3月はやや高めであった。</p> <p>・3月の津軽暖流の水温は0m、50m、100mの各層で高め、水塊深度はやや深め、津軽暖流の東方への張り出しははなはだ東偏。</p>	<p>・定地水温はやや高め。</p> <p>・4月の対馬暖流の水温は0m、50m層でやや高め、100mで平年並み(日本海洋観測結果)。</p>	<p>・津軽暖流域の水温は平年並み~やや高めで推移する。</p>	<p>・FRA-ROMSによると、津軽暖流域の水温偏差が平年並み~高め傾向の予測となっているため。</p>	特になし
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水セ発表)	<p>1月:調査船定期点検のため実施せず。</p> <p>2月:2/12、15、16時化等のため、各定線とも20海里以内の観測となった。</p> <p>《表面水温》 10海里以内は6~8℃台であり、黒埼、トドヶ埼、尾埼定線で「平年並」~「やや高い」、樺島定線で「平年並」となった。</p> <p>20海里は、6~10℃台であり、黒埼、樺島定線で「やや高い」、トドヶ埼、尾埼定線で「平年並」となった。</p> <p>《100m深水温》 10海里以内は6~9℃台であり、黒埼定線で「やや低い」~「やや高い」、トドヶ埼定線で「平年並」~「やや高い」、尾埼、樺島定線で「平年並」となった。</p> <p>20海里は6~7℃台であり、全定線で「平年並」となった。</p> <p>3月:3/4、3/10~11</p> <p>《表面水温》 10海里以内は3~8℃台であり、黒埼定線で「低い」~「やや高い」、トドヶ埼定線で「高い」、尾埼定線で「やや高い」~「高い」、樺島定線で「やや高い」となった。</p> <p>20~50海里は、3~12℃台であり、黒埼、尾埼定線で「やや低い」~「やや高い」、トドヶ埼定線で「平年並」~「やや高い」、樺島定線で「平年並」~「極めて高い」となった。</p> <p>《100m深水温》 10海里以内は5~8℃台であり、黒埼定線で「やや低い」~「平年並」、トドヶ埼定線で「高い」、尾埼定線で「やや高い」、樺島定線で「平年並」~「やや高い」となった。</p> <p>20~50海里は3~8℃台であり、黒埼定線で「やや低い」~「平年並」、トドヶ埼、尾埼定線で「やや低い」~「やや高い」、樺島定線で「平年並」~「やや高い」となった。</p>	<p>4月:4/7、8~9</p> <p>《表面水温》 10海里以内は7~8℃台であり、黒埼定線で「平年並」~「やや高い」、トドヶ埼、尾埼定線で「やや高い」、樺島定線で「平年並」となった。</p> <p>20~50海里は、3~9℃台であり、黒埼、樺島定線で「やや低い」~「やや高い」、トドヶ埼、尾埼定線で「やや低い」~「平年並」となった。</p> <p>《100m深水温》 10海里以内は5~7℃台であり、黒埼、樺島定線で「平年並」、トドヶ埼、尾埼定線で「平年並」~「やや高い」となった。</p> <p>20~50海里は2~7℃台であり、黒埼、尾埼定線で「やや低い」~「平年並」、トドヶ埼定線で「やや低い」~「やや高い」、樺島定線で「平年並」となった。</p>	<p>2024年11月以降、欠測(11月は32定点の内、12定点が欠測、12月は28定点の内、25定点が欠測、2月は28定点の内、12定点が欠測)が多く、海域全体の今後の見通しが予測できなかった。</p> <p>FRA-ROMSII及び気象庁の海況予測図から、5月中旬には黒潮統流の勢力が強まり、表面水温は上昇する傾向にある。100m深水温は6月中旬まであまり変わらないと予測される。</p>	<p>FRA-ROMSIIの2025年5月15日、31日及び6月14日予測図、気象庁海面予想図(2025年5月16日予想図)による。</p>	<p>主要6港におけるツノナシオキアミの水揚げは、漁期開始から4月上旬までが3,436トン(昨年の1.7倍)であった。</p>
三陸南部 (宮城県沿岸; 宮城水セ発表)	<p>1月中旬までは黒潮統流からの暖水波及により例年より3~5℃程度高かった。</p> <p>1月下旬以降は黒潮統流の南下と暖水の沖合への移動により徐々に降温し、2月中旬には平年比1℃高めとなった。</p> <p>3月末には本県沿岸に親潮系冷水が南下し、沖合は更に降温した。</p>	<p>沿岸域では平年に比べ1℃高いが、沖合へ行くほど親潮第一分枝の影響により1~2℃程度平年より低くなった。</p>	<p>親潮系冷水は5月に入り徐々に北上する。</p> <p>表面水温は上昇し平年より高めとなるが、下層水温は平年並みが継続する。</p>	<p>気象庁3か月予報及びFRA-ROMS IIによる。</p>	<p>親潮第一分枝が3年振りに本県沖合まで南下したことにより、沿岸定置水温は前年比4~6℃程度低下した。</p>
常磐北部 (福島県沿岸; 福島水セ発表)	<p>100m深水温</p> <p>【1月】 中部沿岸は「高い」 南部沿岸は「高い」 ※北部海域は欠測</p> <p>【2月】 北部沿岸は「やや高い」 南部沿岸は「やや高い」 ※中部海域は欠測</p> <p>【3月】 中部沿岸は「高い」 南部沿岸は「高い」 ※北部海域は欠測</p>	<p>100m深水温</p> <p>【4月】 北部沿岸は「平年並み」 南部沿岸は「平年並み」 親潮系冷水が鶴ノ尾埼定線(北部沿岸)の距岸50海里に観測された。</p>	<p>【5月】 「平年並み」</p> <p>【6月】 「平年並み」</p>	<p>FRA-ROMS IIの予測によると、5月の福島県海域142°00'E以西における100m深水温は、平年差0℃~-1℃の領域が大半を占めており、「平年並み」に相当している。</p> <p>また、5月・6月の予測では本県沿岸に親潮からの冷水が波及すると考えられる。</p>	<p>【海況】 2025年2月頃から、親潮系冷水が福島県沿岸に波及し始め、4月に黒潮統流との潮目を形成した。</p> <p>【漁況】 底びき網漁業において、</p>

	※北部:37°50'N 中部:37°25'N 南部:37°00'N				マイワシの入網が2月から現在(4月末)まで継続している。
常磐南部～鹿島灘(茨城県沿岸;茨城水試発表)	1月:調査船の定期修繕により、1月の海洋観測は実施できなかった。気象庁「海洋の健康診断表」によると、三陸沖の暖水渦から暖水が波及しており、全層で概ね「平年並～やや高め」となった。 2月:調査船の定期修繕により、2月の海洋観測は実施できなかった。気象庁「海洋の健康診断表」によると、黒潮の北偏は継続しており、全層で概ね「やや高め」となった。 3月:平年と比較すると、0m深では全域で「やや高め～高め」、50m以深では黒潮続流が流れる鹿島～犬吠埼沖142°E付近および黒潮系暖水の影響を受ける大洗～鹿島沖141°30'以西では「やや高め～高め」、黒潮続流の北偏の影響が弱まった会瀬～大洗沖142°E付近では「平年並～やや低め」となった。	平年と比較すると、0m深では全域で「平年並～やや高め」、50m以深では冷水が差し込む会瀬沖で「平年並～やや低め」、黒潮からの暖水波及の影響を受ける大洗～犬吠埼沖で「平年並～やや高め」となった。	0m深では全域で「平年並～やや高め」、50m以深では会瀬沖～大洗沖で親潮系冷水の影響により「平年並～やや低め」、鹿島沖～犬吠埼沖で暖水波及の影響により「平年並～やや高め」で推移する見込み。	海洋観測結果、気象庁「海洋の健康診断表」、FRA-ROMSIIによる。	

各階級の水温平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部～鹿島灘
		距岸10海里内	距岸10～70海里			
極めて高い(2.5%)	+3.3°C～	+3.8°C～	+6.1°C～	+5.8°C～	+4.9°C～	+6.1°C～
高い(7.5%)	+2.2～+3.2°C	+2.4～+3.7°C	+3.9～+6.0°C	+3.8～+5.7°C	+3.2～+4.8°C	+4.0～+6.0°C
やや高い(20%)	+0.9～+2.1°C	+1.0～+2.3°C	+1.6～+3.8°C	+1.5～+3.7°C	+1.3～+3.1°C	+1.6～+3.9°C
平年並(40%)	+0.8～-0.8°C	+0.9～-0.9°C	+1.5～-1.5°C	+1.4～-1.4°C	+1.2～-1.2°C	+1.5～-1.5°C
やや低い(20%)	-0.9～-2.1°C	-1.0～-2.3°C	-1.6～-3.8°C	-1.5～-3.7°C	-1.3～-3.1°C	-1.6～-3.9°C
低い(7.5%)	-2.2～-3.2°C	-2.4～-3.7°C	-3.9～-6.0°C	-3.8～-5.7°C	-3.2～-4.8°C	-4.0～-6.0°C
極めて低い(2.5%)	-3.3°C～	-3.8°C～	-6.1°C～	-5.8°C～	-4.9°C～	-6.1°C～

1991年1月～2020年12月の100m深度の観測水温を基に階級区分している